

子実用トウモロコシの栽培と推奨品種

都府県版

■ 適切な播種期を守りましょう

子実収量は、早播きで最も高くなります。収量を確保するために、栽培地域に合った適期播種を行いましょう。

早播きのメリット

- ① 最も雌穂収量の高い栽培体系。
- ② 遅播きと比較して、栽培期間のアフノメイガ発生が少ない。
- ③ 梅雨時期の作業頻度を低減できる。
- ④ 比較的台風の襲来が少ない時期に収穫が可能ため、倒伏リスクを軽減できる。

<早播きした場合の播種適期と収穫期の目安>

早播き	播種期	収穫期の目安	RM *
寒高冷地	4月下旬～5月上旬	9月中下旬～10月上旬	90～115
一般地	4月上旬～5月上旬	8月下旬～9月上旬	110～120
西南暖地	3月下旬～4月下旬	8月中旬～8月下旬	110～120

平均気温で10℃が播種の目安です。早期播種の場合は遅霜にご注意ください。
地域の環境や気象条件の変動によって適期は前後する場合があります。
完熟子実の収穫目安は、圃場での子実水分率が25%程度まで低下したタイミングです。
※RM（相対熟度）：トウモロコシの早晩性を表す指標です。数字が小さい方が早生品種になります。

■ 生育個体数を確保しましょう

基本的な肥培管理の徹底は、収量の安定につながります。

- ◆ 湿害対策をしっかりと行いましょう。排水対策にはサブソイラによる心土破碎、暗渠、額縁明渠等が有効です。畑の利用計画に沿ってご検討ください。
- ◆ トウモロコシは比較的酸性土壌に強い作物ですが、pHが極端に低い圃場では生育が悪くなります。土壌分析を行い、pHが5.5より低い圃場には炭カル等の石灰資材を散布すると土壌pHが改善します。
- ◆ 施肥管理は自治体の基準を参考にしましょう。
- ◆ 生育初期の苗立枯病による枯死や鳥害、虫害は欠株のリスクに繋がります。以下のポイントに配慮した栽培を行いましょう。
 - ① 未熟堆肥の施用を避ける。
 - ② 最適栽植密度よりやや多めに播種する。
 - ③ 均一な播種と鎮圧を徹底する。
 - ④ 種子にキヒゲンR-2フロアブルを塗抹処理する。
 - ⑤ 殺虫剤を利用する（クルーザー FS30、ダイアジノン粒剤5）。
- ◆ 開花期にアフノメイガ対策として殺虫剤（ブレパソンフロアブル5）を散布すると収穫ロスや子実の品質低下を低減できます。

■ 除草剤を活用しましょう

トウモロコシは除草剤体系が確立している作物です。適期に適切な除草剤を利用することで雑草害のリスクを低減できます。

- ◆ **土壌処理剤**
播種から出芽までに散布します。播種直後から雑草を抑えることで、肥料や水分、光の競合を軽減できます。
 - ◆ **茎葉処理剤**
トウモロコシの初期生育時に散布する除草剤です。トウモロコシが伸長した後は地面まで日光が十分に届かないため、新たな雑草の萌芽や伸長が抑えられます。初期に雑草をしっかりと枯らすことができれば、生育後半まで雑草を抑えることが可能です。
- ※除草剤の種類によって防除できる雑草が異なります。圃場の状態に合わせた防除を行いましょう。
※詳しくはP79～81をご参照ください。

■ 品種選定において注意すべきポイント

栽培環境に適した品種選定を行い、品種能力を最大限発揮させましょう。

- ◆ **収穫期に完熟に達する品種を選択しましょう。**
品種の早晩はサイレージ用トウモロコシのRM(相対熟度)を目安にしてください。
- ◆ **病害抵抗性、耐倒伏性品種を利用しましょう。**
特に南方さび病が発生する地域では南方さび病抵抗性品種をご利用ください。早期に発生する地域では特に早めの播種を心掛け、病害激発前の収穫を心掛けましょう。
- ◆ **雌穂のカビ発生リスクの少ない品種を利用しましょう。**

⚠ 遅播きについて ⚠

弊社では早播きでの栽培を推奨しておりますが、輪作体系などによっては遅播きを選択されることが予想されます。遅播きでの栽培にあたっては以下の考慮すべきリスクを把握した上でお試しください。

- ◆ 栽培期間中の病害リスクが大きいため、病害抵抗性の高い品種の利用が必須です。
- ◆ 遅播きでは中生品種の利用が一般的ですが、播種期が遅くなると登熟不足による子実の品質低下を招く恐れがあります。
- ◆ 栽培期間が台風の時節と重なるため、倒伏リスクが高まります。
- ◆ 早播きと比較して不稔が出やすく、低収量となる可能性があります。
- ◆ アフノメイガの発生が最も多い時期での栽培となります。アフノメイガによる食害は雌穂柄の折損やカビの発生原因となります。

推奨品種のご紹介

サイレージ用品種のラインナップの中から子実用としても利用できる品種を以下にご紹介いたします。
栽培方法はサイレージ用トウモロコシに準じます。

カビの発生リスクの低い早生品種を推奨しております

■ トウモロコシ 早生品種【RM105】

■ トウモロコシ

スノーデント105 品種 (LG2533)



- ◆ 寒冷地の栽培に適する。
- ◆ 早期の収穫が可能。
- ◆ 子実収量に優れる。

最適栽植本数：
7,500本/10a

■ トウモロコシ 早生品種【RM110】

■ トウモロコシ

スノーデント110 品種 (LG30500)



- ◆ 広域適応性に優れ、安定した収量性。
- ◆ 雌穂収量に優れる。
- ◆ 耐病性に優れる。
- ◆ 苗立枯病と考えられる枯死症状が少ない。

最適栽植本数：
7,000～7,500本/10a

■ トウモロコシ 早中生品種【RM118】

■ トウモロコシ

スノーデント118R 品種 (SH5702)



- ◆ 雌穂収量が安定多収な子実型。
- ◆ 耐病性に優れる。
- ◆ 耐倒伏性に優れる。
- ◆ 不稔割合が少ない。

最適栽植本数：
7,000～7,500本/10a

■ トウモロコシ 中生品種【RM125】

■ トウモロコシ

スノーデント125T 品種 (SH2821)



- ◆ 早播き～遅播きの適応性を備える。
- ◆ 耐病性に優れる。
- ◆ デント×フリントタイプ。

最適栽植本数：
6,500～7,000本/10a

遅播きで栽培される場合は中生品種のご利用をご検討ください。

飼料用トウモロコシ生産におすすめの植物活力資材

種子に粉衣して使う活力資材

「閼根ネチからアップ」



特徴
乳脂肪培養液を材料にした成分の働きで、植物の発芽・初期生育を助けます。

使い方
播種前の種子に「閼根ネチからアップ」を種子重量の0.3%粉衣してください。
(例：種子1kgに対して「閼根ネチからアップ」3gを粉衣)
※種子粉衣タイプの農薬と混用・同時施用が可能です。
※液状タイプの農薬の場合、農薬を処理した後、十分に乾いてから「閼根ネチからアップ」を粉衣してください。



「閼根ネチからアップ」粉衣、および殺虫・忌避剤処理後は乾燥を十分にを行い、播種期のホッパーへの投入時には余剰の粉や桶底の剝離物などを入れないようにしてください。
「閼根ネチからアップ」を播種機のホッパーに直接投入して粉衣した場合、効果が一時的になる場合があります。

葉面散布して使うアミノ酸液肥

「即効アミノ332」



特徴
豊富な種類のアミノ酸が、植物に吸収されやすい遊離型で含まれています。

使い方
原液100～200ml/水100L(500～1,000倍希釈)で葉面散布してください。飼料用トウモロコシには、アミノ酸生合成阻害系除草剤との混用も可能です。



除草剤散布時にアミノ酸液肥を1,000倍希釈で混用して葉面散布

トウモロコシ



ネオデント・クロノス90 (SL12029)

規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋

極早生 (RM90)

◎大柄で収量性に
優れる極早生品種!

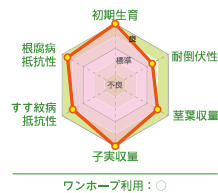


品種特性 ●大柄で、実入りが良く、高い収量性。
●すず紋病抵抗性に優れ、耐倒伏性に優れる。

播種期 寒高冷地(東北北部) 5月上旬～5月中旬

早春播種の場合は遅霜にご注意ください。

播種量 8,000～9,000本/10a



トウモロコシ



ネオデント・アシル90 (SH1353)

規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋

極早生 (RM90)

◎大柄で耐病性に
優れる90日!



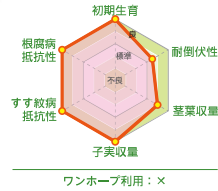
品種特性 ●初期生育が良好。
●すず紋病、根腐病、ごま葉枯病抵抗性に優れる。
●根張りが良く、耐倒伏性に優れる。

利用上の注意 ※除草剤「ワンホープ乳剤」は高温となる日(最高気温30℃以上)、乾燥により作物がストレスを受けている状態では使用しないでください。「アシル90」は除草剤「ワンホープ乳剤」の使用により一時的に生育抑制を生じることがあります。

播種期 寒高冷地(東北北部) 5月上旬～5月中旬

早春播種の場合は遅霜にご注意ください。

播種量 7,000～8,000本/10a



トウモロコシ



ネオデント・エスパス95 (SL0746)

品種

規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋

極早生 (RM95)

◎耐倒伏性に優れる安定多収な95日!

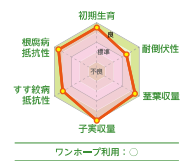


品種特性 ●黒穂病抵抗性に優れ、耐倒伏性に優れる。
●実入りが良く乾物収量が多収。

播種期 寒高冷地(東北北部) 5月上旬～5月中旬

早春播種の場合は遅霜にご注意ください。

播種量 8,000本/10a



ネオデント・エスパス95 (品種SL0746) の成績

場所	稈長 cm	着穂総高 cm	収穫期熟度	生収量				乾物収量		
				総体 kg/10a	総体 kg/10a	茎葉 kg/10a	穂粒 kg/10a	総体 kg/10a	穂粒 kg/10a	乾物率 %
盛岡試験地	232	84	黄熟後	4,540	1,604	780	825	35.6		
千葉研究農場・那須試験地 ^{※1}	244	83	黄熟後	5,597	1,866	817	1,049	33.5		

2021～2023年 弊社盛岡試験地、千葉研究農場、那須試験地 ※1 弊社千葉研究農場と那須試験地の平均値。

トウモロコシ

ニューデント100 (LG3457)



規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋

極早生 (RM100)

◎長稈で茎葉多収な耐倒伏性品種!



品種特性 ●豊富な茎葉と大型な草姿。
●極早生でも早生品種並みの多収品種。
●実入りが良い、長穂が特色。
●耐倒伏性に優れる。
●すず紋病抵抗性に優れる。

播種期 寒高冷地(東北北部) 5月上旬～5月中旬

寒高冷地(東北北部を除く) 4月下旬～5月上旬

早春播種の場合は遅霜にご注意ください。

播種量 7,500本/10a



ニューデント100 (品種LG3457) の成績

場所	稈長 cm	着穂総高 cm	収穫期熟度	生収量				乾物収量		
				総体 kg/10a	総体 kg/10a	茎葉 kg/10a	穂粒 kg/10a	総体 kg/10a	穂粒 kg/10a	乾物率 %
盛岡試験地	263	99	黄熟後完熟	4,843	1,805	937	868	37.7		
千葉研究農場・那須試験地 ^{※1}	269	103	黄熟初中	6,161	2,013	1,022	991	32.4		

2021～2023年 弊社盛岡試験地、千葉研究農場、那須試験地 ※1 弊社千葉研究農場と那須試験地の平均値。

トウモロコシ

ニューデント105 (LG2533)

早生 (RM105)



規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋



◎耐倒伏性、耐病性に優れ 雌穂稔実良好の乾物多収品種!



- 品種特性**
- 子実割合が多く、高栄養サイレージが期待できる。
 - ごま葉枯病、すす紋病抵抗性に優れ、病害多発地帯に適する。
 - 耐倒伏性に優れる。

播種期

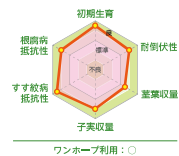
寒高冷地(東北北部)	5月上旬～5月中旬
寒高冷地(東北北部を除く)	4月下旬～5月上旬

早春播種の場合は遅霜にご注意ください。

最選栽培本数 7,500本/10a



※マス目5cm



ニューデント105 (品種LG2533) の成績

場所	稈長 cm	着穂穂高 cm	収穫期 熟度	生収量 総体 kg/10a	乾物収量 総体 kg/10a	茎葉 kg/10a	雌穂 kg/10a	総体 乾物率 %
盛岡試験地	242	86	黄熟後	4,715	1,719	829	890	37.4
千葉研究農場・那須試験地※1	248	91	黄熟中	6,366	1,975	893	1,082	31.3

2021～2023年 弊社盛岡試験地、千葉研究農場、那須試験地
※1 弊社千葉研究農場と那須試験地の平均値。

トウモロコシ

品種 LG3490

早生 (RM108)



規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋



- 品種特性**
- 茎葉と子実のバランスがよい。
 - ごま葉枯病、すす紋病抵抗性に優れる。
 - 苗立枯病と考えられる生育初期の枯死症状が少ない(弊社宮崎試験地)。
 - 耐倒伏性に優れる。

播種期

寒高冷地(東北北部)	5月上旬～5月下旬
寒高冷地(東北北部を除く)	4月下旬～5月上旬
一般地	4月上旬～4月下旬
西南暖地	3月下旬～4月中旬

早春播種の場合は遅霜にご注意ください。

最選栽培本数 7,000～7,500本/10a



※マス目5cm



品種LG3490の成績

場所	稈長 cm	着穂穂高 cm	収穫期 熟度	生収量 総体 kg/10a	乾物収量 総体 kg/10a	茎葉 kg/10a	雌穂 kg/10a	総体 乾物率 %
盛岡試験地	269	107	黄熟後	4,399	1,705	812	893	39.3
千葉研究農場・那須試験地※1	268	104	黄熟中後	6,044	2,170	1,009	1,161	36.3
宮崎研究農場・熊本試験地※2	261	104	黄熟中	5,084	1,761	848	914	34.9

2021～2023年 弊社盛岡試験地、千葉研究農場、那須試験地、宮崎研究農場、熊本試験地
※1 弊社千葉研究農場と那須試験地の平均値。
※2 弊社宮崎研究農場と熊本試験地の平均値。

トウモロコシ

スノーデント110 (LG30500)

早生 (RM110)



規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋



◎長稈で茎葉ボリュームに富む多収品種!



- 品種特性**
- 長稈で、茎葉ボリュームあり、乾物多収。
 - ごま葉枯病、すす紋病抵抗性に優れる。
 - 苗立枯病と考えられる生育初期の枯死症状が少ない(弊社宮崎試験地)。

播種期

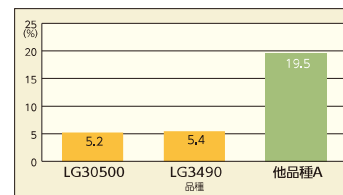
寒高冷地(東北北部)	5月上旬～5月下旬
寒高冷地(東北北部を除く)	4月下旬～5月下旬
一般地	4月上旬～4月下旬
西南暖地	3月下旬～4月中旬

早春播種の場合は遅霜にご注意ください。

最選栽培本数 7,000～7,500本/10a



※マス目5cm



苗立枯病と考えられる生育初期の枯死個体の割合 (%)
※2017-2019年3か年平均 (弊社宮崎試験地、4月上旬播き)

スノーデント110 (品種LG30500) の成績

場所	稈長 cm	着穂穂高 cm	収穫期 熟度	生収量 総体 kg/10a	乾物収量 総体 kg/10a	茎葉 kg/10a	雌穂 kg/10a	総体 乾物率 %
盛岡試験地	273	118	黄熟後	5,544	1,947	977	970	35.8
千葉研究農場・那須試験地※1	283	117	黄熟中後	7,423	2,380	1,157	1,224	32.2
宮崎研究農場・熊本試験地※2	273	106	黄熟初	6,785	1,910	985	925	28.2

2021～2023年 弊社盛岡試験地、千葉研究農場、那須試験地、宮崎研究農場、熊本試験地

※1 弊社千葉研究農場と那須試験地の平均値。
※2 弊社宮崎研究農場と熊本試験地の平均値。

トピックス 近年被害が増えているトウモロコシ苗立枯れ症状の傾向と対策

近年春播きトウモロコシ播種後の「苗立枯れ症状」による被害が各地で多発しています。発生要因は多岐にわたり、下表のような複合的な要因で発生していると考えられます。これらを一一つ改善していくことによって、その被害を予防し軽減することができます。

苗立枯れ症状の考えられる要因と症状

主な病原菌：ピシウム菌 (5種のピシウム属菌が関与)、フザリウム菌、リゾクトニア菌など

主 な 症 状：トウモロコシ播種後、胚又は胚乳が侵され、腐敗して全く発芽しないか、発芽しても幼苗時に枯死する。

考えられる発生要因	影響・症状等	具体的な対策例
多雨・豪雨による 湛水・冠水	●病原菌の増加 ●酸欠による根腐れ、光合成の低下による生育遅れ	●排水対策を行う (サブソイラやプラウ耕の実施、明渠の利用) ●「キビゲンR-2フロアブル」の利用で軽減
春先の低温 (気温15℃以下)	●低温菌が活性化(ピシウム菌の場合が多い)し、トウモロコシに感染しやすくなる ●トウモロコシの生育遅れ	●気温の上がる5月上旬頃に播種する (低温期の播種を避ける)
生堆肥や前作の 残遺による害	●気温の上がる4月頃に分解が進む ・分解菌の増加 → 立枯れの発生助長 ・分解するために土壌菌がチッソを消費 チッソ飢餓 → トウモロコシの生育遅れ、軟弱化	●堆肥は早めに散布し腐熟させる 特に生堆肥は冬中に散布・耕起する ●前作の残遺は早めに鋤きこむ (丁寧な耕起作業を心がける)
肥培管理 (特に播種時)	●極端な深播 → 発芽し難い状態で、菌に侵され易い ●過剰な鎮圧 → 特に土壌水分が高い場合は注意	●適正な播種深度になるように調整する ●土壌水分が高い時は過度な鎮圧は控え、重さも軽く調整する



苗立枯病と考えられる枯死個体の割合 (弊社宮崎試験地)

品種LG30500 他品種B

トウモロコシ

スノーデント115 (LG31.588)

早生 (RM115)



規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋

◎ボリュームと耐倒伏性を兼ね備えた多収品種！



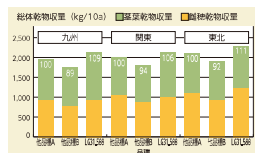
- 品種特性**
- 長稈の大型品種で、雌穂、茎葉ともに乾物多収。
 - 耐倒伏性に優れる。
 - こま葉枯病、すす紋病抵抗性に優れる。
 - 苗立枯病と考えられる生育初期の枯死症状が少ない(弊社宮崎試験地)。

播種期

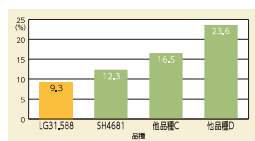
寒高冷地(東北北部)	5月上旬～5月下旬
寒高冷地(東北北部を除く)	4月下旬～6月上旬
一般地	4月上旬～5月上旬
西南暖地	3月下旬～4月下旬

早春播種の場合は遅霜にご注意ください。

最適栽培本数 6,500～7,000本/10a



品種LG31.588の乾物収量性
九州: 2014-2020年の6年平均、関東: 2017-2020年の11試験平均、東北: 2017-2020年の6年平均



苗立枯病と考えられる生育初期の枯死個体の割合(%)
※2017-2020年4年平均 (弊社宮崎試験地、4月上旬播種)



※マス目5cm



スノーデント115(品種LG31.588)の成績

場所	稈長 cm	着穂穂高 cm	収穫期 熟度	生収量		乾物収量		総体 乾物率 %
				kg/10a	kg/10a	kg/10a	kg/10a	
盛岡試験地	309	135	黄熟中後	5,997	1,967	1,024	943	33.3
千葉研究農場・那須試験地 ^{※1}	302	122	黄熟中後	7,471	2,279	1,168	1,111	30.6
宮崎研究農場・熊本試験地 ^{※2}	299	123	黄熟初	7,323	1,901	1,078	823	26.1

2021～2023年 弊社盛岡試験地、千葉研究農場、那須試験地、宮崎研究農場、熊本試験地

※1 弊社千葉研究農場と那須試験地の平均値。

※2 弊社宮崎研究農場と熊本試験地の平均値。

トウモロコシ

スノーデント118R (SH5702)

早中生 (RM118)

規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋

◎耐病性に優れる子実安定多収な品種！



- 品種特性**
- すす紋病、こま葉枯病抵抗性に優れる。
 - 雌穂乾物収量が安定多収な子実型の品種。

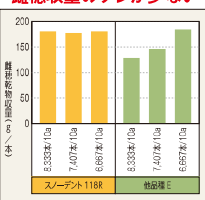
播種期

寒高冷地(東北北部)	5月上旬～5月中旬
寒高冷地(東北北部を除く)	4月下旬～6月上旬
一般地	4月上旬～5月下旬
西南暖地	3月下旬～4月下旬

早春播種の場合は遅霜にご注意ください。

最適栽培本数 7,000～7,500本/10a

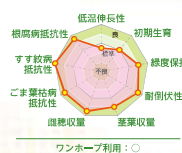
雌穂収量のブレが少ない



スノーデント118Rの1株あたりの推定雌穂乾物収量
2023年 那須試験地



※マス目5cm



スノーデント118R(品種SH5702)の成績

場所	稈長 cm	着穂穂高 cm	収穫期 熟度	生収量		乾物収量		総体 乾物率 %
				kg/10a	kg/10a	kg/10a	kg/10a	
盛岡試験地	268	111	黄熟中後	5,815	1,751	831	920	30.5
千葉研究農場・那須試験地 ^{※1}	279	127	黄熟中後	7,960	2,216	1,107	1,109	28.1
宮崎研究農場・熊本試験地 ^{※2}	271	121	黄熟中後	7,784	1,988	1,104	884	25.7

2021～2023年 弊社盛岡試験地、千葉研究農場、那須試験地、宮崎研究農場、熊本試験地

※1 弊社千葉研究農場と那須試験地の平均値。

※2 弊社宮崎研究農場と熊本試験地の平均値。

トウモロコシ

スノーデントSH4812 (SH4812)

中生 (RM125)

規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋



◎大きな雌穂の乾物多収の中生品種！



- 品種特性**
- 初期生育良好！
 - ボリューム感のある大型品種。
 - 大きな雌穂の乾物多収品種。

西南暖地(主に九州地域)では、RM120程度の熟期を示すことから、二期作体系の1作目としてもご利用いただけます。

播種期

寒高冷地(東北北部を除く)	4月下旬～6月上旬
一般地	4月上旬～5月下旬
西南暖地	3月下旬～5月上旬

早春播種の場合は遅霜にご注意ください。

最適栽培本数 6,000～6,500本/10a

※大柄な品種のため、畦間、株間は広めがおすすめです。



スノーデントSH4812(品種SH4812)の成績

場所	稈長 cm	着穂穂高 cm	収穫期 熟度	生収量		乾物収量		総体 乾物率 %
				kg/10a	kg/10a	kg/10a	kg/10a	
那須試験地	329	151	黄中	8,654	2,371	1,173	1,199	27.8
宮崎研究農場	269	126	黄初-中	6,555	1,988	1,217	771	30.3

2016～2018年 弊社那須試験地、2016～2017年 弊社宮崎研究農場

トウモロコシ

スノーデント125T (SH2821)

中生 (RM125)

規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋



◎耐病性に優れ、総体乾物多収の大型中生品種！



- 品種特性**
- こま葉枯病、すす紋病抵抗性に優れる。
 - 乾物多収の中生品種。

播種期

寒高冷地(東北北部を除く)	4月下旬～6月上旬
一般地	4月上旬～7月下旬
西南暖地	3月下旬～5月中旬

早春播種の場合は遅霜にご注意ください。

最適栽培本数 6,500～7,000本/10a



スノーデント125T(品種SH2821)の成績

場所	稈長 cm	着穂穂高 cm	収穫期 熟度	生収量		乾物収量		総体 乾物率 %
				kg/10a	kg/10a	kg/10a	kg/10a	
那須試験地	316	157	黄初-中	8,617	2,094	1,120	974	24.8
宮崎研究農場	250	131	黄中	6,521	1,885	1,045	840	28.9

2016～2018年 弊社那須試験地、2016～2017年 弊社宮崎研究農場

雪印種苗
雪印種苗育成品種

トウモロコシ

スノーデント 凄夏 (SM6343)

品種

2025年春
新発売

規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋

中生 (RM126)

◎雪印種苗のフルシーズンが堂々登場！ 播種期を問わず安定した生育と収量性！



- 品種特性**
- 長稈で茎葉ボリュームがあり、乾物多収。
 - 初期生育、耐倒伏性に優れる。
 - 苗立枯れ症状の発生が少ない。
 - ワンホープ乳剤利用可※。

播種期	
一般地	4月中旬～7月中旬
西南暖地	4月上旬～8月上旬

最適栽培本数 6,500本/10a

利用上の注意
※高温となる日（最高気温 30℃以上）、または 7～8 月
播種体系でのワンホープ乳剤のご使用は避けてください。

スノーデント 凄夏 (SM6343) の成績

播種期	稈長 cm	着穂高 cm	収穫期熟度	生収量				総体乾物率 %
				総体 kg/10a	総体 kg/10a	茎葉 kg/10a	穂穂 kg/10a	
早播ぎ	285	167	黄初～中	9,015	2,338	1,514	824	25.6
遅播ぎ	276	154	黄中～後	6,928	1,948	1,170	779	28.7
夏播ぎ	220	114	黄初～中	5,128	1,506	945	561	30.2

2018～2023年 早播ぎ・遅播ぎ：弊社宮崎農場、熊本試験地、千葉研究農場、栃木試験地の平均値、夏播ぎ：弊社宮崎農場、熊本試験地の平均値

雪印種苗

トウモロコシ

スノーデント おとは (PI2008)

品種

農研機構と雪印種苗の
共同育成品種

規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋

中生 (RM127) PVP 海外輸出禁止
(農研機構と雪印種苗の共同育成品種)

◎耐倒伏性、南方さび病抵抗性に優れる乾物多収品種！



- 品種特性**
- 幅広い播種期間に対応可能（極端な早播ぎはお控えください）。
 - 耐倒伏性に優れる。
 - 南方さび病抵抗性に優れる。
 - 乾物多収な品種。
- 播種期**
- | | |
|----------|-----------|
| 一般地（西日本） | 5月上旬～7月下旬 |
| 西南暖地 | 4月中旬～8月上旬 |
- ※関東地区で播種する場合は最寄りの営業所に相談ください。
- 最適栽培本数** 6,500本/10a

利用上の注意 ※高温となる日（最高気温 30℃以上）、または 7～8 月播種体系でのワンホープ乳剤のご使用は避けてください。



スノーデント おとは (品種PI2008) の成績

場所	稈長 cm	着穂高 cm	収穫期 熟度	生収量				総体乾物率 %
				総体 kg/10a	総体 kg/10a	茎葉 kg/10a	穂穂 kg/10a	
都城試験地	246	115	黄初	6,619	1,816	973	843	27.7
熊本試験地	217	90	黄初	5,092	1,359	836	523	26.7

2016～2018年 弊社都城試験地5月播き、2016～2018年 弊社熊本試験地夏播き

雪印種苗

トウモロコシ

スノーデント 夏皇 (SH2933)

品種

西日本地区
限定

規格
3,500粒/袋
50,000粒/袋

晩生 (5月播き～二期作利用)

◎フラビー萎縮症抵抗性、耐倒伏性に優れる ボリューム感のある草姿で多収を実現！



- 品種特性**
- ボリューム感のある茎葉型品種。
 - 耐倒伏性に優れる。
 - 高い乾物収量。
 - フラビー萎縮症抵抗性に優れる。

播種期 西南暖地 5月中旬～8月上旬

最適栽培本数 6,500本/10a

夏播きでの乾物率

	乾物率(%)		
	茎葉	穂穂	総体
スノーデント 夏皇	25.3	47.3	30.5
他品種	21.4	47.0	27.9

2014～2015年の宮崎研究農場、都城現地試験、および熊本試験地の平均値。

詳しい情報は
「牧草と園芸」をご覧ください。



利用上の注意
※ワンホープ乳剤のご使用は避けてください。茎葉処理剤
をご利用の際はアルファード液剤をご利用ください。

スノーデント 夏皇 (品種SH2933) の成績

場所	稈長 cm	着穂高 cm	収穫期 熟度	生収量				総体乾物率 %
				総体 kg/10a	総体 kg/10a	茎葉 kg/10a	穂穂 kg/10a	
都城試験地	224	128	黄初	6,006	1,620	999	620	27.7
熊本試験地	213	121	黄初	5,347	1,429	912	517	26.7

2016～2018年 弊社都城試験地5月播き、2016～2018年 弊社熊本試験地夏播き



トウモロコシの二期作栽培について

トウモロコシの二期作栽培とは？

1作目に通常の早播き栽培を行い、1作目収穫後の7月下旬から8月上旬までに2作目の夏播き栽培を行い、トウモロコシを年に2回収穫する栽培体系です。有効積算温度が高い西南暖地を中心に行われています。

二期作栽培体系



適切な播種時期とは？

1作目は通常の早播き栽培を行います。2作目の播種適期前に収穫できるように3月下旬～4月上旬までには播種を行いましょう。栽培期間は3月下旬～7月下旬です。

2作目は開花期以降の登熟期が気温が低下する秋となるため、いかに早く開花させて登熟期間の温度を確保するかが重要です。適期収穫のためには7月下旬播種が理想的ですが、8月上旬までのできるだけ早い時期に播種を行いましょう。栽培期間は7月下旬～11月頃です。

適切な品種選定

1作目

上述した播種適期で7月中～下旬に収穫可能なRM100～115の品種を選定しましょう。地域によってはRM120クラスの栽培も可能ですが、気象条件によっては収穫時期が遅れる可能性があります。詳しくは、お近くの営業所にお問合せください。

2作目

気温が最も高い時期の播種になる為、南方さび病やワラビー萎縮症の発生リスクが高まります。RM125以降の中生～晩生の耐病性に優れた品種を選定しましょう。早生～早中生の品種は生育初期の高温により短稈出穂し、また耐病性も劣るため収量は見込めません。

推奨品種：スノーデントおとは、スノーデント凌夏、スノーデント夏皇、スノーデント125T※

(※南方さび病発生リスクの少ない一般地で利用可)

各推奨品種の特性については、掲載ページをご覧ください。

2作目での省力的栽培（不耕起栽培）

2作目で不耕起播種を行う事で、耕起作業を省略することが出来ます。1作目に残る雑草対策として、播種前にグリホサート系の除草剤を散布します。

注）前作の残渣や雑草が多い場合、不耕起播種機に草が絡むなど播種作業が困難になる場合があります。

1作目での適切な雑草管理が重要です。

2作目で登熟期まで進まなかったら？

天候による播種作業の遅れや、適期播種を行った場合でも、冷夏など生育期の気象条件による生育の遅延により、収穫適期の黄熟期まで登熟が進まない場合があります。その場合、高水分でのサイレージ調製となりますが、弊社乳酸菌資材のサイマスターシリーズの利用によりサイレージ品質の低下を防ぐことが出来ます。詳しくは、P70～73のサイマスターシリーズ掲載ページをご覧ください。

ツマジロクサヨトウに要注意！

2作目（夏播き栽培）の生育初期に最も発生リスクが高く、甚大な被害を受ける場合があります。登録農薬を上手に使用し、適切な防除を行ってください。

ツマジロクサヨトウとは

2019年に国内で初めて発生が確認されてから、ツマジロクサヨトウの被害拡大が危惧されています。特に、2作目（夏播き栽培）の生育初期に最も発生リスクが高く、甚大な被害を受ける可能性があるため、早期発見と適切な防除に努めましょう。

飼料用トウモロコシに対しては、以下の農薬が使用可能です（2024年8月現在）。



農薬の種類	農薬の名称
BT水和剤	- デルフィン顆粒水和剤 - チューレックス顆粒水和剤 - ジャックボット顆粒水和剤
カルタップ水溶剤	バダンSG水溶剤
クロラントラニプロール水和剤	ルミビアFS

ご利用の際は、各農薬の使用方法に従ってご利用ください。



ワラビー萎縮症とは？

1998年頃から九州の一部を中心にトウモロコシの二期作栽培で問題になっている病気です。罹病すると株が萎縮し、葉裏面の葉脈が隆起し葉色がやや濃くなります。また、葉の長さが極端に短くなり、罹病した葉はオーストラリアで有名なワラビーの耳に似ている事からこの病名の由来となっています。原因はフタテンチビヨコバイというヨコバイの一種が、トウモロコシに付着し吸汁した時に何らかの物質が注入されることで起こるとされています。ワラビー萎縮症は、温暖化が影響した新たな病害で、今後更に、発生地域が広がることが懸念されます。



フタテンチビヨコバイ



スノーデント夏皇はワラビー萎縮症抵抗性品種です。

トウモロコシの栽培技術

1 品種選定

品種能力を十分に発揮させ、栄養価や収量性の高いトウモロコシを収穫するために、各地域に最も適する特性（早晩性・耐病性・耐倒伏性など）を持つ品種を選定しましょう。

2 肥培管理

堆肥および化学肥料の施用量は、各都道府県の「施肥基準」に則した施肥を行うほか、定期的に土壌分析を行い、「土壌診断基準値」と照らし合わせて、肥料成分が過剰に蓄積している場合には「減肥基準」を参考に肥料の種類や施肥量を見直しましょう。以下のURL（農林水産省ホームページ）から各都道府県の「施肥基準」情報が得られます。

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/hozen_type/h_sehi_kizyun/

●生ふんの弊害

堆肥が未熟の場合、作物の生育を阻害する物質が多く含まれ、土壌に施用後、堆肥が急激に分解しガス害などが発生する場合があります。また、コガネムシなどによる虫害の発生原因となる場合があります。

（栃木県 農作物施肥基準参照）

●各県の飼料用トウモロコシ施肥基準（参考）

	牛ふん堆肥 施用量 (t/10a)	基肥(kg/10a)			追肥(kg/10a)		
		窒素	リン酸	カリウム	窒素	リン酸	カリウム
岩手県牧草飼料作物生産指針	4	14	7	0			
栃木県農作物施肥基準※	4	19.2	4	2.2			
宮崎県主要作物施肥基準	3	9	20	7	4		3

※ 栃木県農作物施肥基準の牛ふん堆肥はオガクズ混合堆肥

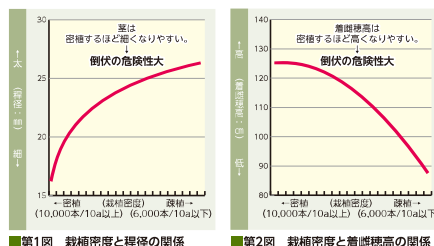
3 適期播種について

トウモロコシの安定多収栽培には適期播種が大切です。播種が早過ぎると発芽不良や遅霜の心配があり、逆に遅過ぎると病気の多発生や未熟での収穫、台風による倒伏被害などの危険が高まります。適期に播種したトウモロコシは根張りが良く茎も太く育つため倒伏に強くなり、実入りも良く多収となります。

※早播きの場合はP6の活力資材のご利用もご検討ください。

4 適正栽植密度について

飼料用トウモロコシの場合、通常6,500～8,500本/10aの範囲で栽培されますが、品種ごとに最も能力が発揮される適正栽植本数があります。品種を変えれば、植え方も変わります。適正栽植本数から外れた高密度で植えれば、トウモロコシは徒長して稈径が細くなり、倒伏の危険性が増します（第1図、第2図）。また、高密度で栽培するほど雌穂は小さく不稔が多くなり、



トウモロコシサイレージ (CS) のクラッシャー処理 (破砕) について

1. 破砕処理における留意点

破砕処理は、ハーベスターで切断した材料をクラッシャーと呼ばれる装置ですり潰す処理のことです。すり潰す程度はローラで加減でき、ローラ幅は3～5mm程度です。この時の切断長は、破砕処理なしのハーベスターで推奨されている9mmよりも長い16～19mmとします。

※ 熟期刈りなどの早刈り条件ではクラッシャー処理の効果は少なく、逆に養分ロスにつながる場合がありますのでご注意ください。

2. 破砕処理による効果

コンクラッシャーを利用して収穫調整することで、トウモロコシサイレージの消化性を1割程度向上させることができます。また、芯や茎が潰されるため、詰め込み密度が高まる、選り食いを防ぐなど、残飼量を減らせるメリットもあります。

最も栄養価のある雌穂の収量を期待できなくなります。播種作業は準備を含めて天候に左右されるため、どうしても焦りがちですが、播種板の交換、シーダーの調整、トラクターの作業速度などの一連の播種作業に一手間かけて、適正な栽植密度を守ることが重要です。

●必要数量早見表

面積	6,100本/10a		6,500本/10a		7,000本/10a		7,400本/10a	
	5万粒(袋)	3,500粒(袋)	5万粒(袋)	3,500粒(袋)	5万粒(袋)	3,500粒(袋)	5万粒(袋)	3,500粒(袋)
10アール		2		2		2		3
20アール		4		4		4		5
30アール		6		6		6		7
40アール		7		8		8		9
50アール		9		10		10		11
1ヘクタール	1 + 4		1 + 5		1 + 6		1 + 7	
2ヘクタール	2 + 7		2 + 9		2 + 12		2 + 14	
3ヘクタール	3 + 10		3 + 13		4 + 3		4 + 7	
4ヘクタール	4 + 13		5 + 3		5 + 9		5 + 14	
5ヘクタール	6 + 2		6 + 8		7 +		7 + 6	



雌穂の位置は密植すると高くなる。雌穂左側：疎植→右側：密植（左：密植→右：疎植）

●畦間、株間と栽植本数(本/10a)

畦間	株間	16cm	18cm	20cm	22cm
70cm		8,900	8,000	7,100	6,500
75cm		8,300	7,400	6,700	6,100
80cm		7,800	7,000	6,300	5,700

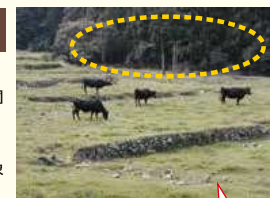
獣害対策のいろいろ！

① 放牧による対策

熊・猪等の被害が多い圃場の周囲に森（山）があったら……そこが侵入経路！そこで、圃場と森の間に放牧地を作ることによって牛が熊・猪等の侵入を抑制してくれます！

② 防護柵による獣害対策

防護柵にはトタン柵、ネット柵、ワイヤー柵、電気柵などの様々な種類があります。対象動物の特性や侵入経路、立地条件などを考慮して、効果の高い柵の選択と設置が必要です。



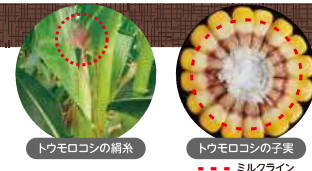
で囲んだ森から熊・猪が侵入しやすい。その手前に放牧地があると……熊・猪が警戒して侵入しにくくなる！

5 除草剤

本カタログP79～81を参考に、優占している雑草を考慮して除草剤を選定してください。

6 収穫

黄熟中～後期がトウモロコシの収穫適期です。雌穂から収穫時期を判断する場合には、右表のように絹糸が出てきた時期から40日前後を目安にし、ミルクラインが子実の半分まで達したことを確認して収穫してください。ただし、茎葉タイプの品種は茎葉のドライダウンがやや遅い傾向があるため、茎葉の状況も確認しながら収穫時期を決めてください。



●各地域での収穫適期の目安

	絹糸抽出後
寒高冷地	45～50日前後
一般地	40～45日前後
西南暖地	30～35日前後

7 サイレージ

トウモロコシサイレージの品質向上、二次発酵防止にはP73の添加剤もお役立てください。

3. 破砕処理と未破砕処理の消化性の違い

写真はトウモロコシサイレージを混合したTMR摂取時の糞性状を示したものです。未破砕処理のトウモロコシサイレージの場合、1日1頭当たりの混合量が45kgまで増えると、糞中への未消化排泄量が非常に目立つようになります。

未破砕CS 給与時糞性状	15kg 給与	35kg 給与	45kg 給与
破砕処理CS 給与時糞性状	15kg 給与	35kg 給与	45kg 給与



※ 農研機構北海道農業研究センター「トウモロコシサイレージの高品質大量収穫調整技術と泌乳牛への多給利用による濃厚飼料削減効果」より引用